

シリーズパソコン周辺機器**「ペンタブレット」**

宮杉 浩

今回紹介するのは「ペンタブレット」です。今まで紹介してきた周辺機器やメディアと比べると、あまり聞き慣れない名前かもしれませんが、この「ペンタブレット」はパソコンを使ってデザインなどを行う際には非常に重要なツールなのです。

「ペンタブレット」とはポインティングデバイスの一種でマウスと同じ周辺機器に分類されます。本体である四角い板状のタブレットとペン型入力装置の二つで構成されています。タブレット上で動くペンの位置座標を読み取ってディスプレイ上のポイントを操作する仕組みとなっています。前回紹介したマウスが一般的なポインティングデバイスなのですが、このペンタブレットはより繊細で正確なポイント操作が可能になっています。

例えばマウスを使ってパソコンのペイントツールで絵を描いたり、線を引いたりする事をされた方もおられるでしょうが、なかなか思うように描くことができなかつたり、字を書いても、紙に鉛筆やペンで普段書いているようにはいかなかった事でしょう。ペンタブレットはペン型入力装置によってマウスより繊細な操作ができるので、直接ディスプレイに描いているような感覚で操作ができるのです。そのため、コンピュータ上のイラストや絵画・図面制作などに幅広く用いられており、グラフィックデザイナーなどの職種には必須のツールとなっているのです。漫画家やイラストレーターも以前は紙に下書きをしてそれをスキャナでパソコンに取り込み、グラフィックソフトで色付けをするのが主流でした。最近ではペンタブレットを使って下書きから直接パソコンを使用するケースが増えてきているそうです。ペン型入力装置も筆圧やペンの傾きまで感知できる機能が内蔵されているものが登場し、実際の筆記用具と同様に微妙なタッチを表現できるようになっています。対応ソフトも数多く登場し、ワード文書にペンタブレットを使って自筆のサインを入れたりすることもできるようになっています。

さらに現在では液晶ペンタブレットが登場しています。これは液晶ディスプレイにタブレットを取り付けるタイプで、より直接描画する感覚で操作ができます。そのためテレビ会議システムや病院の電子カルテなど様々な分野で用いられています。皆さんにとってはテレビのクイズ番組で回答者が画面に直接字を書いて回答している場面が、一番馴染みがあるのではないのでしょうか。

ペンタブレットはパソコンに標準装備されているものではないので、利用する場合には別途購入する事になります。ですが、マウスとは全く違った操作ができ、パソコンの使い方の幅を格段に広げるツールです。機会があれば是非一度体感していただきたいと思います。

みやすぎ ひろし（係長補佐・管理運営課）